

令和元年(平成31年)度 事業報告

《平成31年4月1日～令和2年3月31日》

1 交通安全活動に対する県民の理解・協力を確保するための広報啓発事業

(1) 交通安全全国(県)民運動の実施

年4回実施される交通安全運動の推進団体として、関係機関・団体及び各地区交通安全協会と連携し、交通安全運動を実施した。

(2) 交通安全広報・啓発活動の推進

飲酒運転根絶及び交通ルールの遵守と交通マナーの実践についての交通安全広報・啓発活動を推進し、県民の交通安全意識の高揚を図った。

ア ポスター等による広報

交通安全広報用ポスター、ステッカー、チラシ、懸垂(横)幕、のぼり等を作成し、各地域、職場、学校等に配布した。

【活動推進状況】

○ 交通安全広報・啓発用ポスター、チラシなどの作成配布状況

・交通安全広報用ポスター・チラシ等	28,000枚
・交通安全ニュース	68,000枚
・交通安全運動用広報テープ・CD	115本
・交通安全運動用懸垂・横断幕	12本
・横断旗・ベスト(JA共済連寄贈)	4,600点
・自転車安全教室用教材(冊子)	2,600部

○ 交通安全教育資機材の購入整備・活用状況

・カラー反射材リストバンド	16,000本
・ランドセルカバー	4,850枚
・交通事故防止DVD	4本
・交通安全横断指導旗(全日本交通安全協会)	65本

イ ラジオ、テレビ、新聞等広報媒体による広報

(ア) ラジオ沖縄、RBC、FM沖縄のラジオ3局及び民放テレビ3局を活用して、年4回の交通安全運動期間中、飲酒運転根絶を含むCMキャンペーン・広報を実施した。

(イ) 年4回の交通安全運動期間開始日に、運動の期間・スローガン等の周知を図るため新聞広告を掲載した。

(ウ) 地域コミュニティ放送局「5局(FMとよみ・FM21・FMレキオ・FMニライ・FMたまん)」を活用し、当連合会の活動状況をアピールしたほ

か、交通安全協力費の協力を呼び掛けた。

- (エ) ROKの「ラジオチャリティミュージックソング」スポット放送20回(12/21~12/25の間)、目の不自由な方への音の出る信号機設置キャンペーンに協賛して飲酒運転根絶への協力依頼(20秒)を行った。
- (オ) RBCの警察特別番組「なくそう! 飲酒運転・防ごう! 振り込め詐欺」を協賛(12/22、14:00~15:00放送)した。

【テレビ・ラジオ等の活用状況】

- ・テレビ 120本
- ・ラジオ 120本
- ・新聞 毎月1日、20日及び随時掲載(交通安全運動の取組み等)

ウ 交通安全年間スローガンの広報

県警と連携し、県の年間スローガンポスターを2,000枚を作成し、関係機関・団体等へ配布するとともに、新聞広告を掲載して県民への浸透を図った。

エ 交通安全広報機関誌の発行

機関誌「沖縄県交通安全ニュース」を年4回(6万8千部)発行し、交通安全意識の高揚に効果的な活用を図った。

(3) 交通安全教育資機材等の効果的活用

ア 各種交通安全マニュアルの配布

県・県警察から受託している「更新時講習」、「安全運転管理者講習」等各種講習の充実及び効果的な交通安全教育に資するため、「安全のしおり」、「企業における交通安全対策・実践の手引き」等の冊子を購入・整備し、同講習において効果的に活用した。

【「教本」・「リーフレット」・「冊子」などの購入整備・配布状況】

・安全運転自己診断	74,820冊
・安全のしおり	189,797冊
・検査用紙73-2(長期・中期)	584冊
・検査用紙82-3(短期)	893冊
・自転車の交通安全ブック	130冊
・企業における交通安全対策・実践の手引き	3,915冊

イ 各種視聴覚教材の充実と活用

- (7) 交通事故率の高い二輪車、高齢者向けビデオ教材を充実させ、講習会等

で有効活用を図った。

(イ) 交通安全教育用ビデオ、DVD及びパネル等の活用

各種交通安全講習会で活用したほか、各地区交通安全協会、学校、事業所等に積極的に貸し出し、視聴覚による交通安全教育の充実を図った。

【交通安全教育用資機材の貸し出し(活用)状況】

・教育用ビデオ・DVD	134回
・自動車シュミレーター	6回
・シートベルトコンビンサー	7回
・シートベルトエアバック装置	5回
・クイックアーム	14回
・クイックステップ	7回

(4) 表彰制度の適正な運用

ア 交通安全活動に尽力し、交通事故防止に功労のあった個人、団体及び永年無事故・無違反運転で他の模範となっている優良運転者等の表彰（推薦）を行った。

イ 令和2年1月21・22日の2日間、東京都（文京シビックホール）で開催された「第60回交通安全国民運動中央大会（分科会・本大会）」に「緑十字金章・銀章受賞者」及び「交通安全功労受賞団体等代表者」を派遣した。

【表彰実施状況】

ア 沖縄県警察本部長・沖縄県交通安全協会連合会長連名表彰

(令和元年8月23日)

・交通安全功労者	52名
・優良安全運転管理者	6名
・優良運転者	77名
・交通安全優良団体	10団体
・交通安全優良事業所	3事業所
・交通安全優良学校	5校

イ 沖縄県交通安全協会連合会長表彰等（令和元年8月23日）

・感謝状	5名2団体
------	-------

ウ 全日本交通安全協会会長表彰【交通荣誉章「緑十字銅章」】

(令和元年9月20日)

・交通安全功労者	28名
・優良運転管理者	2名
・優良運転者	43名

エ	九州管区警察局長・九州交通安全協会会長連名表彰（令和元年9月20日）	
	・交通安全功労者	11名
	・交通安全功労団体	3団体
	・優良事業所	2事業所
	・優良運転者	21名
オ	九州交通安全協会会長表彰（令和元年9月20日）	
	・交通安全優良学校	1校
カ	警察庁長官・全日本交通安全協会会長連名表彰（令和2年1月22日）	
	○交通栄誉章「緑十字金章」	
	・優良運転者	2名
	○交通栄誉章「緑十字銀章」	
	・交通安全功労者	5名
	・優良運転者	1名
キ	全日本交通安全協会会長表彰（令和2年1月22日）	
	○団体表彰	
	・交通安全優良団体	1団体
	・交通安全優良事業所	1事業所
	・交通安全優良学校	1校
ク	沖縄県交通安全推進協議会長（県知事）表彰（令和2年1月31日）	
	・交通安全功労者	15名
	・優良運転者	4名
	・交通安全優良団体	8団体

(5) ホームページ等を活用した情報の発信

当連合会の事業活動を広く県民に周知し、業務に対する理解と協力を確保するため、連合会が実施している「各種交通安全活動実施状況」や「子供・高齢者自転車大会」等の各種大会及び交通安全功労者表彰（顕彰）等について、ホームページや交通安全ニュース等を活用して情報を発信した。

2 交通事故の実態を踏まえた実践的な交通安全指導・教育事業

(1) 交通安全指導（対策）の積極的推進

ア 新入園児、新入学児童に対する安全指導の実施

新入園児及び児童に対して、各地区交通安全協会を介してランドセルカバー等の交通安全用品を配布した。

また、各地区交通安全協会と連携し、模擬交通信号機を活用した正しい横断の仕方や交通マナー等の交通安全指導を実施するとともに、通学路における街頭指導を行い、新入园児及び新入学児童の交通事故防止を図った。

イ 高齢者交通事故防止対策の強化

- (ア) 高齢歩行者の交通事故防止のため、反射材の普及促進を図った。
- (イ) 本県高齢者の自転車利用者数が極端に低いため、昨年度まで実施していた高齢者自転車大会を取りやめ、これに代わる高齢者事故防止対策として、警察及び地区交通安全協会と連携し、「第1回高齢者交通事故防止リーダー研修会」を開催した。高齢者の交通事故が社会問題化する中で、地域の交通安リーダーを育成する目的で実施し、修了後、修了証書を交付した。
- 後日、県内新聞に写真入りで研修状況が掲載された。

【「第1回 高齢者交通事故防止リーダー研修会」の概要】

- ・開催日時 令和2年2月15日（土）13:00～17:00
- ・開催場所 沖縄県警察運転免許センター
- ・受講者数 56名 ※受講者に『修了証書』を交付

ウ 原付、二輪車の交通安全対策の強化

- (ア) 二輪車安全運転推進委員会（幹事会）を基に各機関・団体と連携し、特に若者を対象に「セイフティー ライディング スクール沖縄」を1回開催して参加者をリーダーとして育成し、地域・職域における二輪車の安全指導・教育を積極的に推進するなど二輪車の事故防止を図った。
- (イ) 全日本交通安全協会が行う二輪車安全運転特別指導員研修会に指導員1名を派遣し、二輪車安全運転特別指導員の育成を図った。

【講習会・研修会の受講者】

- 原付・二輪車講習会
セイフティー ライディング スクール沖縄 1回 13名
- 二輪車安全運転特別指導員研修(熊本県) 1名

エ 自転車の交通安全指導

- (ア) 自転車安全推進委員会（幹事会）を開催するとともに、県警察、各地区交通安全協会及び県自転車商協同組合の協力を得て、自転車シミュレーター等を活用した自転車の安全指導を実施して、自転車の交通事故防止を図った。
- (イ) 「第43回交通安全子供自転車沖縄大会」を開催し、代表を全国大会へ派遣した。

(ウ) 自転車安全整備店の登録の拡大とTSマークの普及を図った。

【県大会・全国大会の概要】

○「第43回 交通安全子供自転車沖縄県大会」

- ・開催月日 令和元年6月30日(日)
- ・開催場所 沖縄県警察運転免許センター技能試験コース
- ・参加者 14地区 55名(1名欠場)
- ・結果

◆団体の部

- 優勝 砂川小学校(宮古島地区)
- 2位 明石小学校(八重山地区)
- 3位 上本部小学校(本部地区)

◆個人の部

- 優勝 下地 嬉葉(しもじ うれは) 砂川小学校6年(宮古島地区)
- 2位 當山 愛士(とうやま まなと) 明石小学校6年(八重山地区)
- 3位 小形 美楽(おがた みらく) 明石小学校4年(八重山地区)

○「第54回 交通安全子供自転車全国大会」

- ・開催月日 令和元年8月7日(水)
- ・開催場所 東京ビッグサイト東第一ホール
- ・参加者 47チーム(各都道府県代表)
- ・結果

- ◆団体の部 33位(沖縄県代表 宮古島市立砂川小学校)

オ 自動車運転者への交通安全指導の強化

(ア) 「シートベルトコンビンサー」及び「シートベルト兼エアバック体験装置」「セーフティーナビ」、「クイック・アームによる反応テスト」等模擬装置を活用した交通安全指導を実施した。

(イ) 事業所における安全講話の機会を通して「乗車姿勢」、「低速度での急停止」「回避訓練」等の実技を組入れ、運転者の危険予測、回避能力及び安全運転意識の向上を図った。(25回 4,011名)

(ウ) 県警察はじめ、関係機関・団体と連携し、講習会等においてチャイルドシート、すべての座席におけるシートベルト着用の指導を徹底した。

(2) 飲酒運転根絶対策の積極的推進

沖縄県飲酒運転根絶条例に基づき策定された「沖縄県飲酒運転根絶に関する基本方針」に沿って、各地区交通安全協会、関係機関・団体等と連携し、次の施策を推進した。

- ア 飲酒運転脱ワースト運動
- イ 飲酒運転（四）ない運動
- ウ ハンドルキーパー運動
- エ 飲酒運転の根絶運動（毎月1日及び20日）の広報活動
- オ 飲酒運転根絶安全講話
- カ 飲酒運転根絶自動販売機の設置拡大
- キ 飲酒運転根絶バッジの普及促進

【飲酒運転根絶対策の推進状況】

○ 飲酒運転根絶安全講話

26回 5,815名

○ 飲酒運転根絶自動販売機の設置拡大

当連合会と(株)沖縄コカコーラボトリングにおいて、「飲酒運転根絶にする覚書」を締結（平成25年10月22日）

◆ 自動販売機の設置数 ～ 18箇所（令和2年3月末現在）

《設置場所》

- ・自動車学校（7）…波之上、天久、糸満、牧港、普天間、嘉手納
安慶名
- ・その他（11）…当連合会、(株)あんしん、(有)真玉橋オートガス
沖縄県ハイヤー・タクシー協会、(株)沖縄石油ガス、(株)丸政
工務店、(株)中部観光バス、(有)津島工業、(株)沖縄工業検査、
(株)沖電システム、東洋安全機材

3 道路交通法等の法令の規定に基づく、県・県公安委員からの受託事業

道路交通法及び自動車保管場所の確保に関する法律の規定に基づく県・県公安委員会からの次の受託事業を適正に推進した。

(1) 法定講習（更新時講習・違反者講習・停止処分者講習・安全運転管理者講習）

【令和元年度 法定講習受講者数】

・更新時講習	186,926人	} 計 189,137人
・違反者講習	734人	
・停止処分者講習	1,477人	
○安全運転管理者講習	21回 3,632人	91.1%

(2) 運転免許事務

- ・運転免許証記載事項の変更届 8,301件
- ・更新情報提供 261,495件
- ・運転免許証の写真撮影 250,823件

(3) 原付講習

受講者 1,654人

(4) 自動車保管場所事務

- ・受付 97,539件
- ・電算入力 97,999件
- ・調査 87,130件
- ・交付 97,290件

(5) 道路使用許可に係る確認調査事務

実施 2,090件（那覇署1,252件、豊見城署838件）

(6) 警察緊急自動車運転資格に関する適性検査の実施

警察官対象 8回180名

4 運転免許行政の円滑な運用に寄与するための証紙販売事業

運転免許センター内において、運転免許更新等運転免許関係申請者の負担の軽減及び利便性の向上と運転免許行政の円滑な運用に寄与することを目的に実施している証紙販売事業の充実強化に努めた。 売上 22,281,270円

5 交通事故に関する相談事業

県及び県警察と連携し、交通事故に関する相談業務を推進した。

- ・交通事故相談件数 36件

6 交通安全活動に従事する民間組織及び活動家等の能力開発のための支援事業

交通安全活動ボランティア等の支援及び資質、技能の向上を図るため、次の研修に派遣した。

- ア 地域交通安全活動推進委員全国研修会 1名
- イ 自転車安全教育特別指導員講習会 1名
- ウ 二輪車安全運転特別指導員養成講習会及び審査 1名

7 その他の事業

(1) 太陽光発電システム事業の推進

平成26年4月運用開始 売上 1,205,924円

(2) 自主事業の推進

- ア 運転免許申請に伴う写真撮影業務 売上 9,524,400円
- イ 運転免許センター技能試験コースにおける自主練習
24回実施（毎月第2日曜日） 123名 100回

ウ 初心者マーク、高齢者マーク、運転代行マーク、聴覚障害者マーク等交通安全器材の斡旋、販売。 売上 625,380円

(3) 関係機関・団体との協力関係の確保

ア 受託業務を適正に推進するため、県公安委員会、県警察本部主管課及び関係警察署等と緊密な連携を図るとともに必要な指導・援助を要請した。

イ 幅広い交通安全対策を推進するため、県、県警察及び県交通安全母の会等をはじめ交通関係機関・団体及びその他関係団体等との協力確保に努めた。

(4) 賃貸事業

当連合会2階部分を平成27年7月から、WBFリゾート沖縄株式会社に賃貸。

収入 5,400,000円

(5) 交通安全対策の推進（調査研究・緊急対策）

ア 社会の急激な変化、高齢化社会等で変動するモータリゼーションにあつた的確、効果的な交通安全活動を実施するための交通安全に関する資料の収集及び調査研究を推進した。

イ 交通死亡事故多発時には、関係機関・団体と連携し、事故抑止対策を強化した。

(6) 職員の資質向上

全体研修会において、職員の資質・技能の向上を図ったほか、自動車安全運転センター中央研修所等が開催する各種研修会に職員を派遣した。

ア 全体研修会3回開催した。(① H31.4.4、② R1.5.10、③ R1.9.19)

イ 自動車安全運転センター中央研修所派遣 5名

ウ 九州各県更新時講習・停止処分者講習講師研修会 2名

(7) 当会70周年記念事業の積立

平成29年度から31年度までに300万円を積み立てる。

積立額 300万円(完了)